

「歯周炎・インプラント周囲炎ならびに 口腔癌の発症・進展機構における結合組織の役割」の研究に ご協力いただいた患者さんへ

東京科学大学口腔再生再建学分野では、本学の歯学系倫理審査委員会の承認及び機関の長の許可を得て、以下の研究を実施しております。

この研究において「歯周炎・インプラント周囲炎ならびに口腔癌の発症・進展機構における結合組織の役割（承認番号：D2014-141）」の研究で採取させていただいた検体と診療情報を利用させていただきます。

この研究に検体と診療情報を利用することについて、ご了承いただけない場合には、下記問い合わせ先までご連絡ください。また、ご不明な点やご質問などございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

■ 研究課題名

インプラント周囲炎の周囲組織の解析（承認番号：D2020-078）

■ 研究期間

研究実施許可日 ～ 2028年3月31日

■ 研究責任者・検体とデータの管理責任者

東京科学大学口腔再生再建学分野 教授 丸川 恵理子

【 研究目的 】

インプラント周囲炎の治療として外科手術をおこなう際に、インプラント周囲の不良組織（不良肉芽組織および骨組織）を除去して、インプラント表面を清掃しますが、本臨床研究は、この不良組織について詳しく調べる研究です。

本研究の目的は、インプラント周囲炎の周囲組織中の細胞が発現している遺伝子を明らかにすることであり、子孫に受け継がれる遺伝子の変化等の解析ではありません。現在、インプラント周囲炎の治療法として、外科的にインプラント周囲組織と、インプラント表面を清掃する手法がおこなわれています。本研究の結果を基に、より有効で低侵襲の治療法が確立されることが期待されます。

【 利用する検体・情報】

「歯周炎・インプラント周囲炎ならびに口腔癌の発症・進展機構における結合組織の役割（承認番号：D2014-141）」の研究で採取させていただいた以下の検体と診療情報を利用させていただきます。検体と診療情報は、特約の個人を識別できないように氏名等を削除し、研究用の符号を付けて、本学の歯周病学分野で保管されているものを用いて解析を行

います。

- ・検体：炎症性肉芽組織、骨片、歯肉
- ・診療情報：年齢、性別、既往歴、歯周炎の程度、歯周炎あるいはインプラント周囲炎に関する情報（ポケット深さ、歯周ポケット検査時の出血部位、歯の動揺度、X線検査による骨吸収度、血液検査データなど）

インプラント周囲炎由来の線維芽細胞および上皮細胞の遺伝子発現を調べるために、業務委託先の株式会社マクロジェン・ジャパン（代表者 安 光得、金 尚完）へ特定の個人を識別できないように処理した検体を提供して解析を行います。

【 研究資金および利益相反 】

本研究は大学の寄付金を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会に申告を行い、承認されています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われたいのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

【 問い合わせ先 】

東京科学大学

口腔再生再建学分野 教授 丸川 恵理子

03-5803-5773（対応可能時間帯：平日 14:00～17:00）

苦情窓口：東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日 9:00～17:00）